日本ボーイスカウト京都連盟

京都第38団育成会

年次総会・資料

1990

平成11年11月14日（日）

於 団本部 ハウス長休 広間

年次総会次第

開　会　式　　司会進行

1．開会言葉
2．国旗儀礼　（全員起立）
3．讃歌『衆会』
4．本堂礼拝
5．育成会長ご挨拶
6．閉会の言葉

『衆　会』

1 このにわにあつまるわれら　2 みすがたわこころにうつり
よのわざのしなこそかわれ　みおしえはいのちにかよう
もろともにめぐみにとけて　われらいまやみよりさめて
むつみあうこころのこえに　みほとけのひかりのなかに
さんぶつのうれしきしらべ　のりをきくたのしき　つどい

『会　　議』

1．団委員長挨拶
2．議長・副議長の選出
3．議長挨拶
4．記録係の任命

『議　　案』

（1）平成１１年度　各隊活動報告、団行事報告。
（2）平成１１年度　収支決算報告。
（3）平成１１年度　各隊指導者及び団委員の解任。
（4）平成１２年度　顧問・相談役・育成会長・会計監査の選任。
（5）平成１２年度　団委員並びに役務分担承認。委嘱状の伝達。
（6）平成１２年度　各隊指導者の選任報告。　　委嘱状の伝達。
（7）平成１２年度　各隊活動計画について
（8）平成１２年度　収支予算について
（9）その他。

閉会式

1．開式の言葉
2．団顧問のご挨拶
3．讃歌『恩徳讃』
4　本堂礼拝
5．国旗儀礼
6．閉式の言葉

『恩徳讃』

如来大悲の恩徳は
身を粉にしても報ずべし
師主知識の恩徳は
骨をくだきても謝すべし

ごあいさつ

三指

日頃、皆様方には団育成にご理解、ご協力を賜り誠に有難く厚く御礼申し上げます。

今年は団創立４０周年という、輝かしい歴史の時を迎えました。故小川玄諦先生のご意志が、今後も脈々と継がれて行くことを熱望する次第です。

２１世紀を迎える今、日本においても世間は若い世代も含め「キレる時代」「絆の喪失」と言われるように、現代ほど人と人、人と自然が切り離され、分断化された時代はないのではないでしょうか。

３８団のボーイスカウト活動も、これから益々重要であり重大な存在になるでしょう。そして活動を通して精神的、肉体的に健康で明かるい青少年になるよう育成、指導を隊、班、組それぞれの活動の場において、又各家庭において導いて下さることをお願い申し上げ、言葉とさせていただきます。

弥栄

平成１１年１１月１４日

育成会長　　西村　泰一

ご　あ　い　さ　つ

三　指　　３８団関係者各位におかれましては　益々御清栄のこと心よりお慶び申しあげます。又日頃団運営に際しましてご奉仕とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

本年　我々３８団は創立設４０周年を迎えることが出来ました。一言で４０年と申しましても、これまでの道は先輩諸氏の大変なご苦労の結果であり、敬意を表するところうでございます。

３８団創設者の故小川玄諦先生のご指導により、多くのスカウト達が育成され、社会人となり団指導者としてご奉仕を頂く、このサイクルがサンパチの大きな財産と成り、創設者の意志を継ぐものと思います。

サンパチ４０周年を記念して、ベンチャ隊の末吉隊長のご苦労により、アメリカ遠征が実現致しました。スカウト達は大自然の中での野外活動また、ホーム・ステイとラフティングでの楽しかったこと等大きな成果を得ることが出来たと報告をしてくれました。

さて、３８団は今、スカウトの育成には、指導者・団委員及び育成会・維持会員・ＯＢ会と皆々様のご尽力により申し分のない団の運営が成されております。この４０周年を機に、今一度スカウト活動の原点に立ち戻り、見つめ直す（反省）ことが、将来のサンパチを築く基となるものと思います。

『原点に戻る』この事を次年度の目標として、団運営に努めたい。

京都連盟は地区の再編成を検討、平成１２年４月より実施、３８団は比叡地区に編成される予定です。社会情勢の厳しいおり、スカウト達には十分な訓育の場を提供したい。各位の更なるご尽力とご理解をお願い申し上げます。

弥　栄

平成１１年１１月１４日　　団委員長　下坂紀一

一致団結（なかよしの輪）

C．M　西脇淳人

今年一年を振り返って、１１月度から、非常に活動内容が濃密になり、副長と共に、　各個人に出来るだけ、行き届いた指導と興味を持つようなプログラムを考え、本部会議も月に３回と回数を重ね、良い隊集会を開く為スカウトの為に一生懸命がんばり、また、自分自身のスカウト経験を生かし指導して参りました。結果、本部一同のこんな事もチャレンジさせてみようといった洗濯、掃除、炊事が思うより出来た事に驚き、来年は、それを軸にもっといろんな事をやらせてみようと意気込みが見えてきたし、細かい事もこうしたら良いのではと意見が飛び交う良い隊形が出来てきた。(今後に期待)また、副長同士が討論し、夏キャンプでは、３時、４時にもなった事がありまとめるのが大変でした。

さすがに３年間も隊長として、活動し指導すると、スカウトの成長や進歩の課程が手に取るように解り、一つ一つ大人になっていく姿
何も言わなくても行ってくれる細かい指示、当たり前のようで、なかなかできない事で、感心させられました。

今年は、スカウトのやれば出来る事を学び、副長からは、ここまでは行っても良い事、父兄から見たスカウト活動を見せられ、勉強になりました

日本ボーイスカウト京都第３８団カブ隊

平成１２年度　年間活動プログラム

(H11．10．16)

月	テーマ	内容	目標	実施場所	実施日
10	自然調査隊	自然観察	自然愛護	京都御所	１１月１４日
11	９×９＝３８？？	施設見学	安全	防災センター	１２月　５日
12	動玩具	動くおもちゃ	工作	ハウス長休	１月　９日
1	雪山からの笑隊	雪中ハイク	いつも元気	二ノ瀬方面	２月　６日
2	？時間世界一周	ウオークラリー	国際	ハウス長休	３月　５日
3	有言実行	一泊キャンプ	基本	花背山の家	４月 1-2 日
4	シェフ　U．S．K	野外料理	準備		５月１４日
5	ナイトチャレンジ	夜間隊集会	勇気	大文字山	６月　３日
6	エンターティナー	ゲーム大会	発表	ハウス長休	７月　２日
7	不言実行	夏季キャンプ	協力		８月 4-7 日
8	ツールド備輪子	サイクリング	体力作り	琵琶湖	９月　３日
9	Ｂｙｅ²くまさん	お別れ隊集会	輪	百井ｷｬﾝﾌﾟ場	１０月 14-15 日

集会・会議予定

月例隊集会	原則として毎月第２日曜日
母の会	隊集会直後の木曜日
その他	デンコーチ会議。組長・組次長会議。父の会（随時）。

一年間をふりかえってみて　＜新米隊長回顧録＞

岡本　健司

昨年１０月にボーイ隊の隊長をお引き受けすることになった時，正直いって「これは大変なことになるぞ」とかなり緊張したことを思い出しています。

それまではカブとボーイで７年間を副長としての立場で，それなりの努力をしてきたつもりではいたのですが，いざ隊長となるとスカウト活動の色々な面での用務や責任が重くのしかかり，果たして任務を全うすることができるだろうかという不安の気持ちでいっぱいでした。

しかし，成果はともかくとして，この一年間を無事に乗り切ることができた今は，新米隊長を支えてくださった団委員会，育成会並びに他の指導者の皆様と，文句を言わずについてきてくれたスカウト諸君に対する感謝の気持ちで胸がいっぱいです。

さて，スカウト活動の取組を進めていくにあたっていつも頭を悩ませていたことがあります。一つは，活動の目的とその手段（方法）の関係についてです。

活動の具体的な手段として班活動や進級課題・特修章・技能章などがあるわけですが，ややもするとその実行や課題達成のみに終始してしまい，終ってから何のための集会だったのかなどと反省することがあったということです。

二つ目には，活動の目的とスカウトのニーズをどう融合させていくか，或いはどうやってスカウトをヤル気にさせるかということでした。

さらには，二つのことを克服するため，指導者としての自身の力量をどうしたら高めることができるのだろうかということでした。

これらのことは，スカウト活動を続けている限りおそらく永遠の課題となって私を苦しめ続けるにちがいないと思っています。

来年度も引き続きボーイ隊の隊長をお引き受けすることになるわけですが，幸いなことに，ご本人には無理を申しましたが，引き続きお世話になる方々に加えてさらに新スタッフもお迎えして非常に強力な陣容を組ませていただくことができたので心強く感じています

自分自身としてはまだまだわからないことが多く，不安もつきませんが，初心を忘れず何とか頑張ってみようと思っていますので，これからの一年間もどうかよろしくお願いいたします。

平成１２年度　ボーイ隊年間活動プログラム

[11.10.31]

月	テーマ	内容	隊集会実施予定日	備考
１１	始めの一歩	基本	１１月２８日（日）	上進式 報恩講
１２	＜団行事のテーマ＞	？	未定	誓いの式
１	remember'99	救急 PARTⅠ	１月３０日（日）	新年の集い 女子駅伝奉仕
２	みちなるみち	地図とコンパス PARTⅠ	２月２７日（日）	車椅子駅伝奉仕
３	K　2	計測・通信	３月２６日（日）	
４	＜春キャンプのテーマ＞	観察・野外料理		
５	マスター オブ ロープ	なわ結び	５月２８日（日）	
６	rollover　Mr.Inou	地図とコンパス PARTⅡ	６月２５日（日）	
７	ライフガード　FA	救急 PARTⅡ	７月３０日（日）	グリンバー一泊キャンプ
８	＜夏キャンプのテーマ＞	総集編	８月中旬（４泊）	
９	サンパチ感謝デー	ハウス清掃，備品点検・整理	９月２４日（日）	ＢＳラリー(?)
１０	お別れ隊集会	？	１０月２９日（日）	

隊集会は，原則として毎月最終日曜日とするが，学校行事等により変更する場合もある。

人と大自然とのふれあいで心はＨＡＰＰＹ

「京都38団創立40周年記念米国研修ツアー振り返って」

京都38団創立40周年記念米国研修ツアーリーダー
京都38団ベンチャー隊　隊長　末　吉　央　伯

昨今ボーイスカウト日本連盟では　Looking　Wider　というテーマを設定した。物事を幅広く観るということはさほど難しいことではないが、幅広く観るためには心を開くことが大切だが難しい。その近道には、スカウトのおきての実践が大きな力となるが、それが身についていない。日頃は簡単な挨拶でさえ、家の家族同士はもとより近所人たちにもしないというスカウトが多い。ホーム・ステイで挨拶でさえ声が出ないのも、そのあたりが原因であろう。そのような人間に育てた親とリーダーの責任は重い。

しかし彼らがその能力を育てられなかったために失っているかと言えば、そうではない。メキシコのフェスタでラテン系の明るい人々に触れると、声さえ大きくなってしまう。ここでは他の力によって、自己を高められると言う有り難い場面をみることができた。若者にとっては、いや若者に限らず、どこでもまず行動すること、Learning by doing(行うことによって学ぶ)はスカウティングの基礎だ。

お金は大切だが、その使い方によって価値は変わる。この度の団創立40周年記念研修ツアーの募集に際し、内容といえば高額でおおざっぱなスケジュールしか示さなかったのに、しかも小生のような語学力不備の引率者に対し、多くの申し込みを頂いたことに感謝したい。その上５月に入って期待していたＯＢスカウトの大薮氏の同行が不可能となり、一時は実施さえも躊躇していたところ、サンディエゴのキンキさんも小生の迷いを感じられ、連日強い歓迎のファックスを送って下さり、実行の勇気がわいてきたことは事実で、さらに大薮氏が仕事の途中にサンディエゴに立ち寄って相手方との打ち合わせや、E-mailでの迅速なやり取りが実行の力となった。これらの方々に厚くお礼申し上げたい。

このようなご支援のもと、ホーム・ステイでは大きな友情を深める結果となった。不安はあったが始まってしまえば、あとはスカウト達がうまくやると考えていたが、その通りだった。多くのスカウトは、もう少し滞在を延ばしたいと言ってくれたのでほっと出来た。

ホストホームの皆さんと参加スカウト

しかし、第２の目的の「アメリカの大自然の中で野外活動」については行く前にかなりの不安があった。そのため野外活動の内容が不備であった場合も考えて、現代っ子の気持ちをカバーするつもりで、最終日のロスではユニバーサル・スタジオ入場を組み入れた。さらに、出発日が近づくにつれて、ユタからの連絡に不安を感じていたので、野外活動を４日間もとらずに、ロスでの滞在を費用が高くなってももう１日増やそうかとさえ思っていた。多くの出費をしていただいているのに、充分な中味の検討をしなかったことを悔やんだが、結果は心配をよそに最高の内容となった。ロスでのユニバーサル・スタジオのアトラクションも気に入ってくれたようだが、今回の旅行のメインにはならなかった。もう一度ここに来たいという声は聞かれなかったからだ。サンディエゴ、ユタのどちらでも聞いた声だったのに。

やはり、人の心を動かすものは、人が作ったものでは知れていると言うことを感じた。サンディエゴでの人の温かさは目には見えないが心の奥に伝わるし、ユタの大自然は汚れた人の心をクリヤーにしてくれる。とくにこれらは、ホテル泊まりではなく、ホーム・ステイやキャンピングの生活によって、それらを一層高めてくれた。そのうえユタでのジョンさんという本当にびっくりするほどのバイタリティーに富んだ好ガイドさんによる力は大きい。今まで彼ほどの人物に出会ったことはなかったといっても過言でないくらいの人だ。観察眼は鋭く、空港で我々のグループと出会って、先方も連絡がなく心配されていたそうだが、このグループなら、自らも楽しめるとその時感じたと、後で言われたことが印象的だった。「南ユタの自然をいっぱい楽しんでもらいたい。よい友情を育てたい。皆にハッピーになってもらいたい。」という彼の誠実な願いが日を経る毎にグループ全員に伝わっていくのが嬉しかった。

ジョン・ベイシンガーさんと一緒に

日本人の場合ややもすると、これで充分だろう、そこまでしなくても喜んでくれているからいいじゃないかと、手を抜くのではないけれど自分の仕事は100㌫していると考える。そして相手も十分納得しているのだから決して文句は出ないし、満足してくれているはずだろうと考えてしまうことが多い。しかし彼は違う、これでもかと思うぐらい我々の思いの上を行く、つまり可能な限り行動する。太陽と友達だ。明るくなる早朝から、暗くなる午後８時30分までの間はもとより、夜10時を回ってからでも、皆が元気であればキャンプファイヤーを始める。彼はキャンプに来れば時計は邪魔だといって腕からはずしてしまっている。実際こちらが考えている内容以上の200㌫の活動を本当に我々は消化してしまった。その実感として４日間のはずが、１０日間いやひと月ぐらいここにいるような気持ちにさえなったほどだ。それでも彼はユタの自然の１㌫しか体験していないというから驚きだ。

次回５年後の企画もこれで決まった。少なめに見積もってもあと10回ぐらいは南ユタでＯＫだ。次はこのグループの中の誰かがガイドアシストしなければならない。知っているものがいれば、もっと快適だったと思うからだ。サンディエゴでお世話になった方々も、話題は次回のことどころか、この先何回もずうっと続けて行くための、受け入れ側の若い人たちの養成を考えてのホーム・ステイ先選びをされたとか。もう頭が下がる。何と熱意のあることか、日本人なら次は誰かがやるだろうとぐらいにしか考えないと思う。

新たにユタを知ってしまった小生はもっと早く知っていればと悔やんでいる。次回の５年後も待てない。なぜなら５年後には57歳になるから、今のうち身体の動く間にもっと多くを体験したい。ジョンさんお奨めの川の中を上るハイキング、面白さは我が隊でのカワセミハイクで実証済み、でもスケールとサイトが桁違いに違う。近い内に是非とも実現させなければならない。いや実現させるつもりだ。

同行団委員の服部さん曰く、「これは50万出しても安い内容」が中味の濃さを表している。その上、すべてのメンバーが健康で、身体も心もクリアーに保てたこと。これが成果をあげた最大要因と思う。10日間つきあって各スカウトの家庭の状況がよくわかったし、各自の持ち味、能力も理解できたつもりでいる。家に戻って元に戻ってしまわないかと不安になるが、10日前の彼らとはひと味もふた味も自己を高めて生活することを信じている。

ジョンさんの「このグループはお互いに尊敬しあって、良い人間関係を持っている」とのお褒めの言葉が強烈に残っている。このグループを引率できたことを有り難く、幸せに思い感謝するばかりだ。

組織拡張委員会報告

平成１１年度日本連盟登録申請

北山地区登録日　平成１１年２月１８日　場所；今宮神社

	団委員	指導者	スカウト	合　　計
団　委　員	２２			２２
カ　ブ　隊		９	１４	２３
ボーイ　隊		５	２０	２５
ベンチャー隊		５	１３	１８
ローバ　隊		３	１０	１３
合　　計	２２	２２	５７	１０１

組織拡張委員会　　福井　和美

健康安全委員会報告

１．スカウトの障害保険加入報告

加入保険種類　；　普通障害及び賠償保険

加入期間　　；平成１０年１２月１４日
～１１年１２月１３日

加入人員　　；１０１名　（年間　７００円／人）

取扱代理店　　；東京火災海上　西陣取扱所
小川氏　　４５１－８０３１

２．事故報告　　；なし

３．スカウト活動中に事故が遭えば、速やかにリーダーを通じて健康安全委員まで報告のこと。

平成１１年１１月１４日

３８団健康安全委員会　吉田　容子

指導者養成委員会報告

ＶＳ課程　　京都第２期　ＶＳ研修所
受講者　ＶＳ副長　今井　喜明
日時；　平成１０年１０月３１日～１１月３日
場所；静原キャンプ場
所長　　吉村　元宏
講師　　末吉　央伯
（昨年度記載漏れ、お詫び申し上げます）

平成１１年度
第５回　ボーイスカウト講習会

日　時；　平成１１年１１月７日（日）
場　所；　京都アスニー
受講者；　カブ隊副長　島村　靖弘

以　上

平成１１年１１月１４日
３８団指導者養成委員会　西脇　香代子

進歩委員会報告

年月日	進級章	氏　　名	場　　所
10.12.6	初　級	中村勇策・山下　歩 岸本弘し・佐々木克仁 加藤祐輔・徳永祐一郎	ハウス長休
10.12.6 11.6.13	2　級 2　級	中川敦史 福井和典 山本俊介 中西良太	ハウス長休 ハウス長休
11.8.15 11.10.30	1　級 1　級	北野寛幸・八木克彦 中川敦史・福井和典 竹本宗耕・山下大河	末吉宅 ハウス長休
11.8.9	菊　章	末吉玄希	今宮神社
11.7.11	富士章	八木創平	京都連盟
11.5.18	仏教章	八木創平・月里達也	ハウス長休
技　能　章			
11.1.8	救急章	末吉玄希・山下大河	
11.5.19	沿岸視察章	八木創平	
11.5.19	安全章	河合敏晃・福井和明・山本耕平	
11.9.27	救急章	中川敦史・月里　力 中西良太・八木克彦・畑　俊行	

平成１１年１１月１４日
３８団進歩委員　出口　善子
服部　弘子

カブ隊野行行事委員会報告

10.12.23	団行事	焼そば、フランクフルト担当	ハウス長休
10.12.27	早起き隊集会	カップメン	
11.2.6	隊集会準備	雪中ハイク・荷物出し	ハウス長休
11.2.7	隊集会	雪中ハイク　豚汁る炊き出し、ココア、おやつ	貴船～鞍馬
11.6.18	夏キャンプ下見	献立作成	京北町山の家
11.7.15	夏キャンプ	買い物打合せ	ハウス長休
11.7.23	北山地区ｶﾌﾞﾗﾘｰ	打合せ	北野神社御旅所
11.7.31	夏キャンプ準備	備品点検	
11.8.3	夏キャンプ準備	材料買出し、レシピ作り	
11.8.5		生鮮物買出し	
11.8.6	夏キャンプ	ﾔｸﾙﾄ、お肉、買出し	京北町山の家
11.8.9	夏キャンプ	夜　反省会（軽食ﾊﾝﾊﾞｰｶﾞｰ）	ハウス長休
11.9.12	北山地区ｶﾌﾞﾗﾘｰ	役務ポイント安全管理	指月林
11.10.16	平成１２年度 新入隊説明会	お茶、お菓子	ハウス長休
11.10.20	隊集会(最終)準備	材料買い出し	
11.10.23 24	隊集会（最終） （一泊）	食事の準備 食事の準備	静原キャンプ場

：ご支援を頂きありがとうございました。

カブ隊野行行事委員会　島村・大泉・川井

ボーイ隊野営行事委員会報告（平成１１年度）

１２月２２日　団行事準備（おでん材料買い出し）
１２月２３日　団行事　模擬店「おでん」担当

７月９日　Ｂ・Ｓキャンポリー打合せ　１回目
（今宮神社内　松風会館）
７月２０日　広川原野営場備品整理奉仕参加（中川、竹本、山下）
７月３０日　Ｂ・Ｓキャンポリー打合せ　２回目（京都救世会館）
７月３１日　夏季キャンプ食材調達の打合せ
（スカウト作成の献立に合わせて）
８月１日～　保存可能食材買い出し（手分けして）
８月５日～８日　食材買い出し・班別分配
８月６日　食材現地搬入（竹本さん）
８月８日　〃　（中川さん）
８月２０日　Ｂ・Ｓキャンポリー　食材買い出し
８月２１日　北山地区Ｂ・Ｓキャンポリー　静原キャンプ場
模擬店　「トウモロコシ・フランクフルト」担当
（北野さん、中川、竹本、山下）
９月２６日　ハウス清掃　草引き奉仕

以上

＊ご支援ご協力ありがとうございました。

〈野営行事担当〉　中川・竹本・山下

財政担当報告

育成会費及び年間行事費の納入は毎月５日に
京都銀行　出町支店にて自動引き落としになっております。
前日までに各自の残高をお確かめの上、ご入金頂きますよう
今後共ご協力お願い申し上げます。

育成会費及び年間行事費

	ＣＳ隊	ＢＳ隊	ＳＳ隊
育成会費(1ヶ月分)	１，５００円	１，５００円	１，５００円
年間行事費(1ヶ月分)	２，０００円	２，０００円	１，５００円
合　　計	３，５００円	３，５００円	３，０００円

＊同一保護者で二名以上のスカウトが在籍する場合、
二人目以上は育成会費を５００円控除した金額を
納めて頂きます。

財政担当　　山本　美子
丹羽　　武

団　財　政　明　細

平成１１年９月３０日現在

摘　　要	金　額	摘　　要	金　額
普通預金	240,860	団積立準備金	2,200,000
定期預金	2,420,114	団備品購入引当金	300,000
現　　金	187,031	緑化募金還付積立金	31,527
		道標修理費預り金	52,846
		繰越金	263,632
計	2,848,005	計	2,848,005

積立金等明細

平成１１年９月３０日

摘　　要	前年度繰越金	本年度積立金	本年度支出	次年度繰越金
団積立準備金	2,200,000	0	0	2,200,000
団備品購入引当金	300,000	0	0	300,000
緑化募金還付積立金	22,114	9,413	0	31,527
道標修理費預り金	52,846	0	0	52,846
計	2,574,960	9,413	0	2,584,373

上記の通り報告致します。

団会計　丹羽　武

平成11度第38団育成会会計報告

自平成１０年１０月１日～至平成１１年９月３０日　（単位：円）

収入の部		支出の部	
摘要	金額	摘要	金額
団積立準備金	2,200,000	登録費	420,550
団備品購入引当金	300,000	保険料	70,700
緑化募金還付積立金	22,114	ハウス管理費	182,100
道標修理費預り金	52,846	団行事費	95,664
入団諸費	6,000	団備品費	50,400
育成会費	706,000	研修補助費	10,500
各隊年間行事費	961,500	活動援助費	216,756
（ＣＳ隊）	(324,000)	各隊年間行事費	881,707
（ＢＳ隊）	(414,000)	（ＣＳ隊）	(481,632)
（ＳＳ隊）	(223,500)	（ＢＳ隊）	(400,075)
維持会費	407,000	（ＳＳ隊）	(0)
賛助会費	10,000	慶弔費	20,000
預金利息	37,945	印刷費	86,691
緑化募金還付金	9,413	会議費	48,000
雑収入	57,160	団事務費	77,165
		団積立準備金	2,200,000
		団備品購入引当金	300,000
		緑化募金還付積立金	31,527
		道標修理費預り金	52,846
前年度繰越金	238,260	次年度繰越金	263,632
計	5,008,238	計	5,008,238

上記の通り相違ないことを報告致します。　平成１１年１０月３０日

団会計　丹羽　武

平成１１年度の会計を監査した結果、帳簿、証拠書類共に相違ないことを確認しました。

監査人　山川常七

平成12年度第38団育成会会計予算書（案）

自平成１１年１０月１日～至平成１２年９月３０日

（単位：円）

収入の部		支出の部	
摘要	金額	摘要	金額
入団諸費	16,000	登録費	430,000
		保険料	80,000
		ハウス管理費	180,000
育成会費	770,000	団行事費	100,000
		団備品費	50,000
		研修補助費	40,000
各隊年間行事費	1,160,000	活動援助費	180,000
内（CS隊18名）	(430,000)	各隊年間行事費	1,200,000
（BS隊19名）	(450,000)	内（ＣＳ隊）	(430,000)
訳（SS隊16名）	(280,000)	（ＢＳ隊）	(450,000)
		（ＳＳ隊）	(280,000)
		訳（ＲＳ隊）	(40,000)
維持会費	350,000	慶弔費	30,000
		交際費	20,000
		会議費	40,000
		印刷費	80,000
		団事務費	80,000
前年度繰越金	263,632	予備費	49,632
計	2,559,632	計	2,559,632

＊予算の各項目間の流用を認める。

尚、団事務費の中に銀行口座引落手数料が含まれています。

団会計　丹羽　武

平成１２年度各隊指導者名簿

	隊長	副長
カブ隊	西脇淳人	南　忠治郎 佐々木　孝　参 島村　靖　弘 出口　浩　平
ボーイ隊	岡本健司	河合　豊 畑　秀弟生 岸本　敏　弘 八木　立　夫 末吉　敦　周 鶴田　順　一 八木　創　平
ベンチャー（ＶＳ）隊	末吉央伯	榎本　信　也 角井　輝　信 遠藤　亘 今井　喜　明
ローバー隊	西村浩行	西脇　孝　典 下坂　直　司

平成１２年度団委員会名簿

団顧問	中川恵造
相談役	中村三之助
育成会長	西村泰一
団委員長	下坂紀一
副団委員長（団会計）	丹羽　武
副団委員長（野行）	入矢徹雄
副団委員長（組・健）	徳岡武宏
団委員（財政委員）	竹本篤子
団委員（進歩委員）	服部弘子
	出口善子
団委員（指導者養成委員）	西脇香代子
	五十嵐達志
団委員（健康安全委員）	津田加奈栄
団委員（組織拡張委員）	北野三佐子
団委員（野営行事委員）ＣＳ	高橋チエ
	小野佳代子
	佐竹真紀
団委員（野営行事委員）ＢＳ	八木
	月里あけみ
	中西
団委員（野営行事委員）ＶＳ	中川裕子
	福井和美
会計監査	山川常七